



CIESF NEWS LETTER

シーセフ ニュースレター

2017 September

第 43 号

公益財団法人 CIESF(シーセフ)は、非営利で国際的な民間の支援団体です。基礎教育の質の向上を主な目的とし、その上で高度人材育成も行い、カンボジアをはじめとした途上国の発展を支援します。



産業人材を育てる

日本語とビジネスマナーを教える



日系企業のカンボジア進出が増えるなか、
現地採用のスタッフとして活躍できる人材の需要が高まっています。

日本を含めた海外の企業は、安価な人件費を求め、中国に工場をおく企業が多くありました。しかし、近年では人件費の高騰や度重なる衛生管理の問題により、東南アジアに移行する企業が増えています。その中でもカンボジアは、親日国家であり日系企業は進出しやすくなっています。しかし、あらゆる教育システムがまだ整っていないカンボジアでは、課題も多くみられます。

- 進出が増える日系企業が雇用できる人材が足りない
- 基礎的な計算ができない
- 人材が安定しない（離職率が高い）
- 企業の需要に対する供給が追いつかない
- 地方の工業団地では日本語人材採用が困難

シーセフでは、カンボジア人が日系企業でも活躍できるように、日本語だけではなく、日本の文化や就職に役立つビジネスマナーも教えています。

CIESF Business Training Center (CBTC)

CBTC は、2011 年に首都プノンペンに開校しました。日本語だけではなく、日本文化、そしてビジネスマナーなどを教える学校で、授業料は無償となっています。現在はカンボジアの労働訓練省の認定校となっています。学生のほとんどは、大学に通っていたり、仕事をしながら CBTC で勉強をしています。忙しい中ではありますが、日本語学習への意識が高く、元気で明るい学生が多いのが CBTC の特色です。



日本語を勉強することで、日本企業への就職、日本への留学なども視野に入れることができ、学生たちの進路の幅が広がります。今後も多くの学生が CBTC で学べるように、環境を整えていきたいと思えます。

←左記の写真は、日本語の勉強を始めて 2 ヶ月後の成果です。校内で「書写コンテスト」を行いました。

CBTC の先生に
インタビュー!



ソクレン先生

Q. 日本語を教えるときに難しいと思うことは何ですか？

「生徒に、自分のはっきりと答えられない質問をされたときに困ります。ですが、生徒がたくさん質問してくれることによって、自分も新しいことを勉強できるのでスキルが上がります。」

Q. CBTC の学生はどんな人が多いですか？

「明るい生徒ばかりですね。質問もたくさんしてくれます。同じクラスメイトがわからない問題があるときはみんなで助け合っています。みんな、日本語の勉強に対する意識も高く、日本に行きたく、日本企業で働きたいと思っています。」

スパイリエン大学日本語コース

王立スパイリエン大学と共同で同大学に日本語コースを設置し、地方でも日本語を学べるような環境づくりの支援も行っています。

スパイリエン州のバベット地区は、工場地帯が広がり経済特区が集まっています。その中には、日系企業も多くあります。カンボジアでは、地方での就職場所が少なく、若者は都市部に移動していきます。しかし、スパイリエン州の企業で就職できれば、地元を離れる必要はありません。そこで、スパイリエン州の若者たちの就職先の幅を広げるために、昨年「日本語コース」を開設しました。

日本語コースの第 1 期生のうち、11 名が 9 月にスパイリエン大学を卒業します。その中で、9 名が日系企業への就職活動を行い、日本語での試験や面接に挑みました。まだ、2 年しか経っていないコースですが、生徒たちの頑張り、先生方の指導のおかげで、全員が日系企業へ就職することができました。就職後も、学生たちの様子を見守っていきます。



←日本語コースの立上げから指導して下さった松本直行先生



←カンボジア人講師が作成した文法の表